

「声の商品案内」って
 ご存知ですか？



大阪A選挙区 総代
 山田 美登里さん

目の見えな
 い方のため
 の音声による
 商品案内カ
 タログです。

点数の増加などでお伝えする内容が増え重労働になってきた作業が、この3月から念願だった自動録音になりました（現在は食品のみ）。カセットテープから始めて33年、「よくぞここまで続けてこられたなあ」と思うのと同時に「これからも続けていくための工夫をしていかなければ」と感じています。

パル鶴見福祉センター



大阪B選挙区 総代
 飯田 容子さん

3周年祭を
 無事に終え、
 4年目を迎
 えます。地
 域の祭りな

積極的に参加交流しお互い協力できるネットワークが作れ、少しずつですがパル鶴見福祉センターを拠点にだれでも立ち寄り集まれる施設に。ここを中心に子どもから高齢者まで障がいのあるにかかわらず、住民どうし住み慣れた地域でいきいきと暮らし安全・安心な町づくりをめざしたいです。

組合員活動の魅力



枚方市選挙区 総代
 五十嵐 夕紀さん

子育て支援
 として組合
 員活動を始め
 から7年。不
 安の中で始め

た活動ですが、たくさんのひるば参加者や幅広い年齢層のスタッフの方々に見守られ、育てられたのは私たち親子であったように思います。子どもの成長とともに関わり方も変えていける組合員活動に、もっと多くの方が参加してやりがいや充実感を持てる活気のあるものになってほしいです。

「くらしのたすけあいの会」
 の活動について



大東市・四條畷市・
 交野市選挙区 総代
 福元 幸子さん

利用会員さ
 んに手紙をも
 らいました。
 「稚児行列で、
 一生に一度の

子どもたちの姿を86歳の父に見せたい、でも子どもの付き添いなどで手一杯。父の事は諦めかけましたが『たすけあいの会』を思い出し当日は祭りの場所に連れてきてもらい、大切な日と一緒に過ごせました。困った時頼れると本当に心強いです。私たちもお役にたてて良かったと言んでいます。

組合員活動を通して
 得たものと感謝



寝屋川市・守口市・
 門真市選挙区 総代
 門本 佐和子さん

組合員活動
 を通して沢
 山の出会い
 共々学びま
 した。活動

をしていなかったら出会わなかった様々な立場や年齢の方とお話をしたり活動する事で、少しずつですが成長してきた様に思います。多種多様なスキルが身に付きいつの間にか小さな自信に繋がっていました。実は私は視覚障がい者ですが活動を続けていられるのは、周りの方のサポートのおかげです。

組合員活動が
 教えてくれたこと

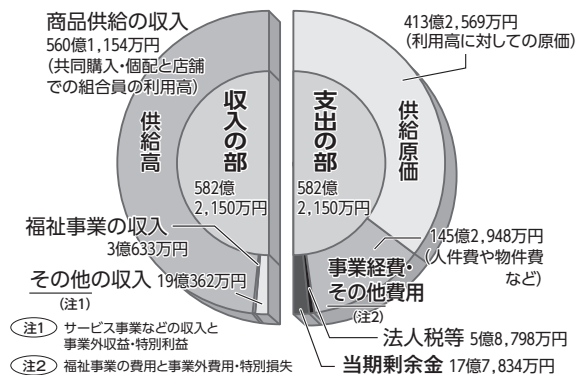


枚方市選挙区 総代
 藤井 由美さん

生産者と生
 協職員と組
 員は家族な
 だと思いま
 す。家族なら、地
 震や大雨にあつたら無事を心配し商品の生産に協力し合つし、家族が作った物は買いたい。家族へ変な物を売りたい。2016年度も組合員活動を通して、生産者・メーカーからいろんな話を聞き、背景にある社会情勢をふまえて大いに語り合い・伝え・広めみんなで考えられたらと思います。

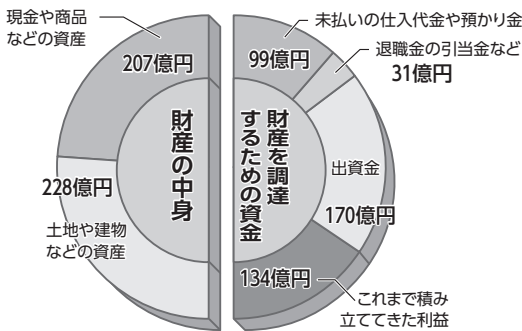
2015年度 事業の結果

2015年3月21日～2016年3月20日までの
 1年間の収支状況



万円未満の端数を切り捨てています。

2016年3月20日現在のパルコープの財産 435億円



億円未満の端数を切り捨てていますので、
 左右の合計は一致しません。

2016年度 事業計画

供給高計画		
共同購入事業	473億	円
内) 班	198億	1,400万円
内) 個配	267億	8,600万円
内) 生活サポート	7億	円
店舗事業	107億	円
2016年度計画	580億	円

総代会アピール

生活協同組合おおさかパルコープは、平和で心豊かなくらしを願う大阪のお母さんたちがつくりました。よりよいくらしとよりよい社会をめざして、事業や活動にとりくんできました。日々のくらしと政治経済はつながっています。だからこそ、わたしたちはくらしに直結する世の中の出来事に、無関心ではられません。

今、格差社会が問題となっています。非正規雇用が増加し、実質賃金は下がり続けています。6人に1人の子どもたちが貧困の中でくらししています。保育所の待機児童問題が働く親たちを悩ませています。年金や介護など、老後の不安も広がっています。消費税増税が家計を直撃し、消費は低迷しています。

日本の食を担う生産現場では、生産者の高齢化や後継者不足などの問題をかかえ、TPPIによってその存続があやぶまれています。東日本大震災で被災されたみなさんの生活復興は、5年を過ぎた今も遅れています。4月には熊本地震が起こり、多くの方が被災されました。改めて地震国日本に住んでいることを実感しました。福島第1原発事故の収束のめども立たない中での原発の再稼働に不安が広がっています。

戦後70年間戦争をしない国であった日本が、今、変わろうとしています。憲法を守るべき内閣が憲法解釈を変え、集団的自衛権の行使を含んだ「安全保障関連法」を成立させました。多くの憲法学者が違憲であり、立憲主義に反すると指摘しています。

日本の生協は、戦争の悲惨さや戦後の苦しい生活に直面して、「平和とよりよき生活のために」の理念をかかげました。わたしたちは社会の矛盾や問題から目をそむけることなく、自分や今のことだけでなく、子どもや孫、そして未来の子どもたちにも思いをめぐらせましょう。マスコミの情報だけにまどわされず、ともに学び考え、行動することを呼びかけます。

2016年6月7日

生活協同組合おおさかパルコープ通常総代会

発言を受けての理事会のまとめ（要旨）

文書発言を含め39件の発言をいただきました。議案を深める意見と受け止め、具体的な改善要望の真意に応えるよう、今年の事業で努めてまいります。

商品事業について

共同購入関連では、少量お試し企画は16年は春秋に加え、通年でとりくみ、1000を超える品目に増やしていきます。子育てファミリー、共働きの組合員さんに応える商品や品揃えは課題です。秋以降に仮説を立てながら具体化していきます。

班は、少子高齢化の中で、知り合い助け合いの可能性をもつ組織としても大事な存在です。今ある制度を改善し工夫して高めていきます。

店舗では、生協の主張の商品の品揃え、地場近郊の生鮮品で、料理見本、試食や生産者取引先からの生きた情報を添えておすすめていきます。来店される組合員さんと会話しながら要望を伺い、品揃えし、選択購買できるようにすすめていきます。

福祉と地域でのとりくみについて

鶴見福祉センターや、北区大淀地域の住民共同のとりくみは、地域の困りごとに加今後ますます切実となる活動です。くらしのたすけあいの会「声の商品案内」「子育て広場」などは本場になくはならないものであり、組合員さんのボランティアに支えられたパルコープ

の誇りです。子ども食堂や地域の居場所づくりなど、パルコープとしても、広報や事業との連携を模索していきます。福祉事業では、24時間ケア事業への転換を今年より準備していきます。

電力、環境リサイクルについて

原発に頼らないエネルギーへの転換を求めています。組合員さんの学習を重視します。パルコープの事業施設での省エネを進め、太陽光発電設置などで、役割をひきつづき強めます。

食品残渣を減らすことを最優先に、不使用未開封の食品はフードバンクなどの連携、賞味期限を越えたものは飼料にするリサイクルを継続していきます。

組合員活動について

地域組合員さんの関心事や困りごとに添って、学習し、とりくんでおられます。健全な事業経営を続けて組合員活動の条件を整え、広報で応えていきたいと思っています。

配達環境の改革について

職員の意識、スキルの向上とともに、遅れている配達環境の改革に今年から2020年にむけて、遅まきながら着手し投資させていただきたいと考えています。